

FUJIFILM

Supply Monitor 1.2
ユーザーズガイド

目次

目次.....	2
はじめに	3
マニュアル体系	4
本書の使い方	5
1 概要	7
Supply Monitor とは	7
動作環境	8
2 画面の構成.....	10
起動.....	10
メイン画面の表示と非表示	11
メイン画面の見方	12
3 設定登録画面	18
設定操作の流れ	18
[監視対象プリンター] タブ	19
[通知方法の設定] タブ	25
[詳細設定] タブ	29
[設定ファイル] タブ	31
4 トラブルシューティング	33
5 アンインストール	35
6 設定ファイルの CSV フォーマット	36
7 注意制限事項	43
索引.....	44

はじめに

このたびは、Supply Monitor をご利用いただき、まことにありがとうございます。Supply Monitor は、プリンターの消耗品の残量を監視するソフトウェアです。

本書では、Supply Monitor の動作環境と操作方法について説明しています。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に記載しています。

お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

マイクロソフト、Excel、Microsoft、および Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
Adobe、および Adobe Reader は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。
その他の社名、または商品名等は、各社の登録商標、または商標です。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

2021年4月1日、富士ゼロックスは富士フイルムビジネスイノベーションへ社名を変更しました。弊社はゼロックスあるいは富士ゼロックスブランドで販売した商品の保守サービスを今後も継続いたします。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および DocuPrint は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
本書は、富士ゼロックス株式会社が過去に販売した次の機種にも適合するソフトウェアの説明を含みます。

適合機種名：DocuPrint C3360、DocuPrint 3050、DocuPrint C3200 A

マニュアル体系

Supply Monitor のマニュアルは、次のとおりです。

Supply Monitor ユーザーズガイド（本書）

Supply Monitor の動作環境と操作方法について説明しています。

6. 参照

次の場所から閲覧できます。

- ・弊社公式サイト内にある「取扱説明書一覧（ソフトウェア・サービス・複合機関連商品・電子文具）」ページ
- ・Supply Monitor の [ヘルプ] > [ユーザーズガイド]
- ・Windows の [スタート] メニューから [FUJIFILM Supply Monitor] > [ユーザーズガイド]

Supply Monitor セットアップガイド

Supply Monitor のインストール手順とアップデート手順について説明しています。

6. 参照

弊社公式サイトにある Supply Monitor ダウンロードページの「ダウンロード前にお読みください」から閲覧できます。

リリースノートは、次の場所から閲覧できます。

- ・Supply Monitor の [ヘルプ] > [リリースノート]
- ・Windows の [スタート] メニューから [FUJIFILM Supply Monitor] > [リリースノート]

本書の使い方

本書の構成と表記について説明します。

本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

1 概要

Supply Monitor の概要と動作環境について説明します。

2 画面の構成

Supply Monitor の起動と画面の見方について説明します。

3 設定登録画面

設定登録画面で、監視対象のプリンター、アラートの通知方法、ポーリング間隔を設定します。設定内容はファイルに出力したり、ファイルから読み込んだりできます。

4 トラブルシューティング

Supply Monitor のエラーや警告の対処方法について説明します。

5 アンインストール

Supply Monitor をアンインストールする手順について説明します。

6 設定ファイルの CSV フォーマット

CSV フォーマットに従って記述された設定ファイルから、設定値を取り込む手順について説明します。

7 注意制限事項

安全にお使いいただくための注意事項や、操作中に気をつけていただきたい事項について説明します。

本書の表記

本書では、次の記号を使用しています。

 **注記** 必ず知っておいていただきたい情報、操作するときに必ず確認していただきたい情報を表します。

 **補足** 操作の参考になる情報を表します。

 **参照** 参照先を表します。

< > 操作パネル上のボタン、およびキーボードのキーを表します。
また、メッセージやファイル名の一部分など、操作によって変わる文字列を表します。

[] タッチパネルディスプレいやダイアログボックス内のタブ名、項目名、ボタン名、メニュー名、
およびファイル名を表します。

[] > [] メニューに続くメニュー項目名を表します。
例：Windows の [スタート] メニューから [Windows システムツール] > [エクスプローラー]

「 」 同一マニュアル内の参照先、入力する文字、パス名、およびメッセージを表します。

『 』 参照するマニュアル名を表します。

/ 同等の機能を並列するとき、「/」で表します。「/」は「または」で置き換えることができます。
例：「縮小 / 拡大します。」「ヘッダー / フッター / ページ番号を設定します。」

本書では、次の略称を使用しています。

正式名称	略称
パーソナルコンピューター	PC
Microsoft Office Excel	Excel

- 画面に表示されている値は既定値です。

1

概要

Supply Monitor の概要と動作環境について説明します。

1.1 Supply Monitor とは

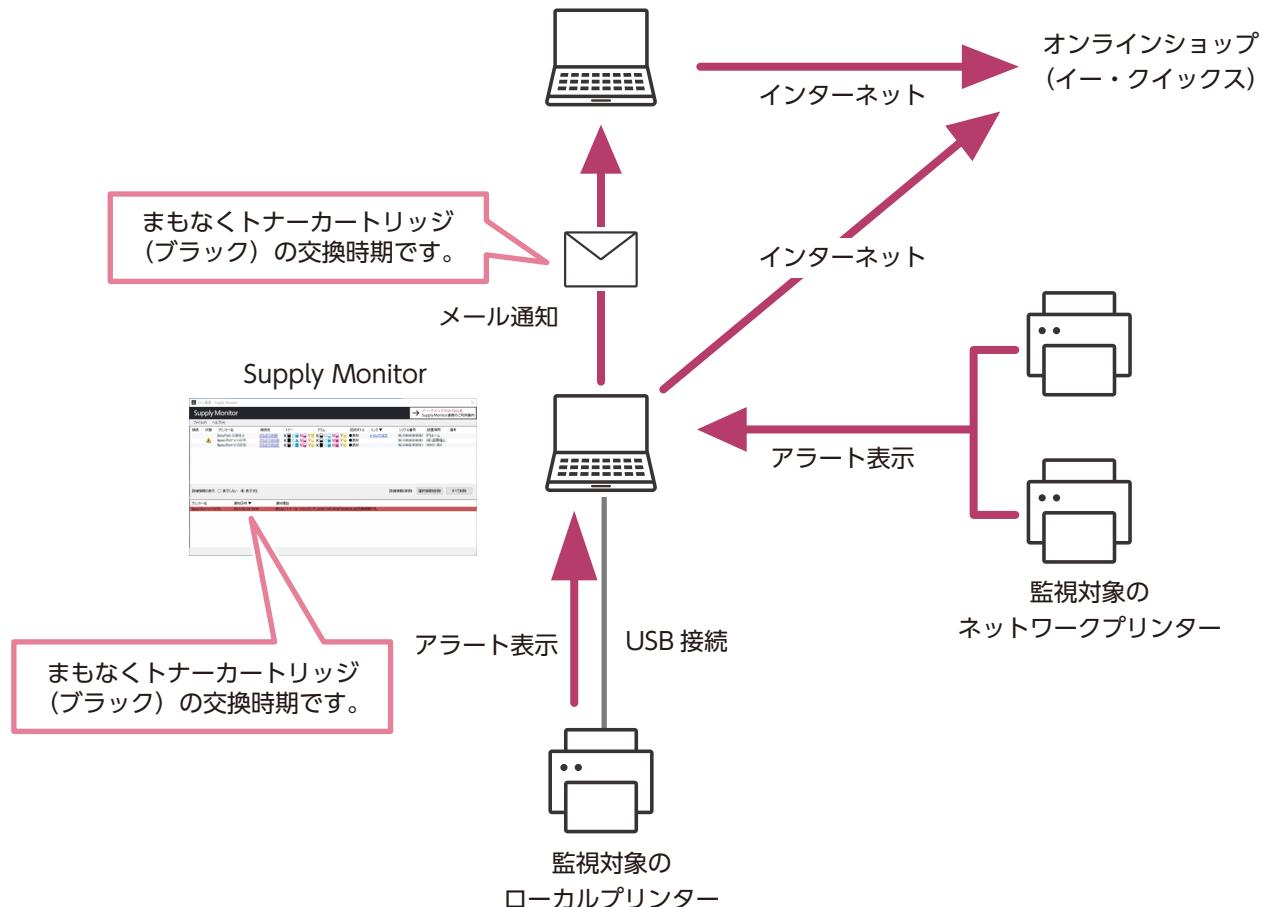
Supply Monitor は、ネットワーク上のプリンターや、USB 接続されたローカルプリンターを監視し、プリンター情報や消耗品情報を取得します。

消耗品の残量が少なくなったときは、Supply Monitor をインストールしたコンピューターにアラート情報を表示したり、指定したメールアドレスにメールで通知したりできます。

また、Supply Monitor の画面に表示されるオンラインショップ（以降、イー・クイックス）へのリンク、またはメール内に記載されたイー・クイックスへのリンク先の URL をクリックすると、インターネットで消耗品を注文できます。

補足

お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、イー・クイックスへのリンクが表示されません。



1.2 動作環境

ハードウェア

Supply Monitor を動作させるために必要なハードウェア構成は、次のとおりです。

CPU	Intel® Core™ 2 プロセッサー 3 GHz 以上
メモリー容量	2 GB メモリ以上
ハードディスク容量	20 MB 以上の空き容量
ディスプレイ	1024×768 ピクセル以上、16 ビットカラー以上
ネットワーク	TCP/IP で LAN に接続されていること

参考

動作環境の最新情報は、[ヘルプ] > [Supply Monitor 商品情報] を選び、商品情報ページで確認できます。

ソフトウェア

Supply Monitor を動作させるために必要なソフトウェアは、次のとおりです。

OS

対象 OS については、弊社公式サイトの Supply Monitor 商品情報ページをご覧ください。

プロトコル、その他

プロトコル	- HTTP/HTTPS (Web アクセス) - SNMP ver2 (プリンター情報取得) - SMTP/POP/SMTP-AUTH (メール送信)
その他	- .NET Framework 4.5 以上 - Adobe® Reader® 6 以上

補足

ウィルス対策ソフトウェアによっては、内部から発信するパケットを制限するものがあります。メール通知を使う場合は、この制限を解除する必要があります。ウィルス対策ソフトウェアで、メール送信（デフォルトでは TCP ポート 25 番への接続）を許可するソフトウェアに「SupplyMonitor.exe」を指定してください。

参考

動作環境の最新情報は、[ヘルプ] > [Supply Monitor 商品情報] を選び、商品情報ページで確認できます。

プリンター

ネットワークプリンター

監視対象として動作を保障しているプリンターについては、弊社公式サイトで公開しています。

補足

- 監視対象のプリンターが多いと、PC の仕様によっては、処理速度に影響を及ぼす可能性があります。推奨は 100 台までです。
- 対応機種以外のネットワークプリンター、複合機、および他社機で、監視プリンターの一覧に表示される機種がありますが、これらは動作保証の対象外です。

参考

次の機種については、「7 注意制限事項」の「プリンター機種固有」(P.43) を参照してください。

カラープリンター	モノクロプリンター
DocuPrint C3200 A	DocuPrint C3360 DocuPrint 3050

USB 接続プリンター

監視対象として動作を保障しているプリンターについては、弊社ホームページで公開しています。

https://www.fujifilm.com/fb/product/software/supply_monitor/system.html

補足

- 対応機種以外の USB 接続プリンターは、設定登録画面のプリンターの一覧に表示されません。
- 機種によっては、プリンタードライバーのインストールが必要です。
動作環境の最新情報は、[ヘルプ] > [Supply Monitor 商品情報] を選び、商品情報ページで確認できます。
- プリンタードライバーをインストールしたあと、USB 接続プリンターを Supply Monitor に登録する場合に、プリンターが検索されないときは、Supply Monitor を再起動してください。

監視できる消耗品の種類

状態を監視できる消耗品は次のとおりです。

- トナーカートリッジ (EP カートリッジを含む)
- ドラムカートリッジ
- トナーリサイクルボトル (DocuPrint C3200 A の転写ロールカートリッジを含む)

使用権限

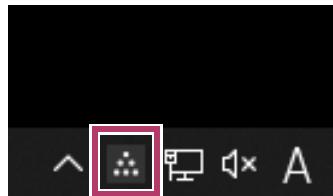
- インストール時は管理者権限が必要です。
- 使用時はユーザー権限以上が必要です。

2 画面の構成

Supply Monitor の起動と画面の見方について説明します。

2.1 起動

Supply Monitor は、PC にサインインしたときに自動で起動します。通知領域に通知アイコン  が表示されている間は、Supply Monitor が起動しており、プリンターの監視が続いていることを表します。



補足

- Supply Monitor が起動したときに、最新バージョンがインストールされているかどうかが確認されます。最新バージョンがインストールされていない場合は、通知が表示されます。
- Supply Monitor が起動したときに、交換が必要、または、まもなく交換が必要な消耗品がある場合は、次のような通知が表示されます。



- 通知領域に通知アイコン  が表示されていない場合は、次の手順で Supply Monitor を起動します。
Windows の [スタート] メニューから [FUJIFILM Supply Monitor] > [Supply Monitor] を選びます。
- Supply Monitor によるプリンターの監視を終了するには、次の手順で Supply Monitor を終了します。

1) 通知領域の通知アイコンを右クリックして、メニューから [終了] を選びます。
終了を確認するメッセージが表示されます。

2) [はい] を選びます。
Supply Monitor が終了し、プリンターの監視が終了します。

2.2 メイン画面の表示と非表示

Supply Monitor のメイン画面を表示する

メイン画面を表示するには、次の 3 つの方法があります。

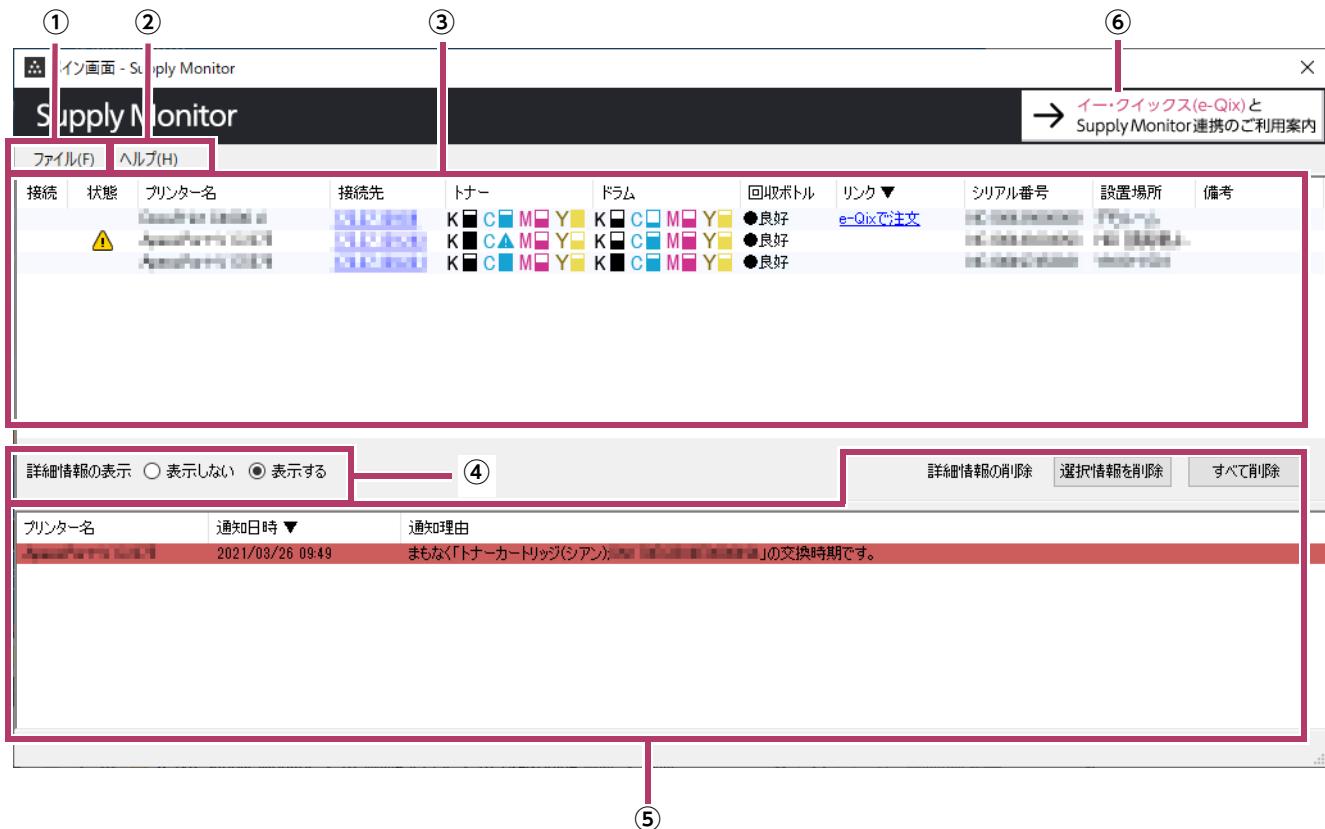
- 通知アイコンをダブルクリックします。
- 通知領域の通知アイコンを右クリックして、[Supply Monitor メイン画面表示] をクリックします。
- Windows の [スタート] メニューから [FUJIFILM Supply Monitor] > [Supply Monitor] をクリックします。

Supply Monitor のメイン画面を非表示にする (Supply Monitor を通知領域にアイコン化する)

Supply Monitor のメイン画面で、[ファイル] > [閉じる] を選びます。

2.3 メイン画面の見方

メイン画面には、監視対象のプリンターから取得した情報（プリンター名、シリアル番号、消耗品の状態など）が表示されます。



No.	項目	説明	参照ページ
①	[ファイル]メニュー	- 閉じる メイン画面を閉じて、Supply Monitor をタスクトレイにアイコン化します。	(P.10)
		- 設定登録画面を開く 設定登録画面が表示されます。監視対象のプリンターや通知方法などを設定します。	(P.18)
		- 最新情報を取得 最新のプリンター情報が取得され、表示内容が更新されます。	(P.13)

No.	項目	説明	参照ページ
②	[ヘルプ] メニュー	<ul style="list-style-type: none"> - アイコンの説明 アイコンの説明画面が表示されます。 - ユーザーズガイド 本書 (PDF) が表示されます。 - Supply Monitor 商品情報 Supply Monitor の商品情報ページが Web ブラウザーで表示されます。 - リリースノート リリースノートが表示されます。 - 使用許諾条件 ライセンス情報が表示されます。 - 更新の有無をチェック Supply Monitor の最新バージョンがインストールされているかどうかを確認します。 最新バージョンがインストールされていない場合には、更新プログラムをダウンロードしてインストールできます。 - バージョン情報 バージョン情報画面が表示されます。 	(P.16)
③	プリンターの一覧	監視対象としているプリンターの情報が表示されます。	(P.14)
④	詳細情報の表示	ラジオボタンでアラート一覧の表示 / 非表示を切り替えます。 起動直後は、「表示しない」が選ばれています。	—
⑤	アラート一覧	アラート一覧は、[詳細情報の表示] で「表示する」を選んだときや、ポップアップしたときに表示されます。 監視対象のプリンターで発生したアラート情報が一覧で表示されます。アラート情報を選ぶと、プリンターの一覧では、そのアラートが発生したプリンターが反転表示されます。	(P.16)
⑥	イー・クイックスのバナー	クリックすると、イー・クイックスのサービス概要の案内ページが、Web ブラウザーで表示されます。	—

□ 補足

お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、イー・クイックスのバナーやイー・クイックスへのリンクが表示されません。

最新情報の取得

Supply Monitor は、プリンターに直接問い合わせて、情報を取得しています（ポーリング）。ポーリングの間隔は、設定登録画面で設定できます。初期状態では 10 分に設定されています。

□ 補足

設定登録画面が表示されている間は、ポーリング処理が停止し、アラートも通知されません。設定をしていないときは設定登録画面を閉じてください。

□ 参照

ポーリング間隔の設定については、「[詳細設定] タブ」(P.29) を参照してください。

すぐにプリンターの情報を確認する場合には、[ファイル] > [最新情報を取得] を選ぶか、<F5> キーを押します。最新のプリンター情報が表示されます。

「プリンターの一覧」の詳細

監視対象のすべてのプリンターについて、情報が一覧で表示されます。

接続	状態	プリンター名	接続先	トナー	ドラム	回収ボトル	リンク ▼	シリアル番号	設置場所	備考
		Printer Name 1	IP Address 1	K▲ C■ M■ Y■ K■ C■ M■ Y■ ●良好	K■ C■ M■ Y■ K■ C■ M■ Y■ ●良好	e-Qixで注文			Room A	
		Printer Name 2	IP Address 2	K■ C■ M■ Y■ K■ C■ M■ Y■ ●良好	K■ C■ M■ Y■ K■ C■ M■ Y■ ●良好				Room B	
		Printer Name 3	IP Address 3	K■ C■ M■ Y■ K■ C■ M■ Y■ ●良好	K■ C■ M■ Y■ K■ C■ M■ Y■ ●良好				Room C	

[接続]

監視対象のプリンターと通信ができないときにアイコンが表示されます。

	プリンターとの通信ができない状態（通信不可）。 次の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none">- プリンターの電源がオフ状態- ネットワークのトラブルなどでアクセス不可- プリンターの SNMP ポート停止- Supply Monitor の [プリンター設定] 画面で指定した取得用コミュニティー名の間違い
--	--

[状態]

消耗品の交換時期になると、アイコンが表示されます。

	消耗品のどれかの残量が少なくなり、まもなく交換が必要な状態（警告）
	消耗品のどれかの残量がなくなり、交換が必要な状態（エラー）

[プリンターナー名]

監視対象のプリンターから取得した、プリンターの名称が表示されます。

プリンターを選んで右クリックし、[プリンターの設定] をクリックすると、[プリンター設定] 画面 (P.21) が表示されます。

[接続先]

- ネットワークプリンターの場合：プリンターの IP アドレスが表示されます。
クリックすると、Internet Services が起動され、プリンターの詳細な状態を確認できます。
- USB 接続プリンターの場合：印刷するポートのポート番号が表示されます。

[トナー]、[ドラム]

トナーカートリッジとドラムカートリッジの残量の目安が、アイコンで表示されます。アイコンは、K■(ブラック)、C■(シアン)、M■(マゼンタ)、Y■(イエロー)、KCMY以外の順に、色別に表示されます。色が識別できない場合は、ブラックで表示されます。消耗品の色がマゼンタの場合、表示されるアイコンは、次のようにになります。

	消耗品の残量が 75% より多い状態 (100% 以下)		消耗品の残量は不明だが、状態は良好で利用可能
	消耗品の残量が 50% より多い状態 (75% 以下)		消耗品の残量も状態も不明な状態
	消耗品の残量が 25% より多い状態 (50% 以下)		消耗品の残量が少なくなっていて、まもなく交換が必要な状態
	消耗品の残量が 25% 以下で、利用できる状態		消耗品の残量が少なくなっていて、消耗品の交換が必要な状態
	消耗品の残量が 0% で、利用できない状態		

[回収ボトル]

回収ボトルの状態が表示されます。

	良好		交換してください
	まもなく交換時期です		不明

[リンク]

イー・クイックスへのリンクが表示されます。クリックするとイー・クイックスに接続します。お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、リンクが表示されません。

[シリアル番号]

監視対象のプリンターがネットワークプリンターの場合は、プリンターから取得したシリアル番号が表示されます。USB 接続プリンターの場合は何も表示されません。

[設置場所]

監視対象のプリンターから取得したプリンターの設置場所、または Supply Monitor の [プリンター設定] 画面 (P.21) で設定した設置場所が表示されます。

補足

監視対象のプリンターが USB 接続プリンターの場合は、プリンターから設置場所を取得することはできません。

[備考]

Supply Monitor の [プリンター設定] 画面 (P.21) で設定した備考情報が表示されます。

補足

- 通信ができないプリンター ([接続] 列にアイコンが表示されている状態) の情報は、グレーで表示されます。
- アイコン上にマウスポインタを合わせると、状態に応じてツールチップでメッセージが表示されます。
- 起動直後、プリンターの一覧には、[e-Qix で注文] のリンクが有効なプリンターから順に表示されます。
- 列名をクリックして、プリンターの並べ替えができます。並べ替えの基準となっている列名には、昇順 (▲) / 降順 (▼) が表示されます。
- 操作中にアイコンの意味を確認するときは、[ヘルプ] > [アイコンの説明] を選びます。アイコンの説明が画面に表示されます。

参考

プリンターの一覧の列の表示 / 非表示、表示順番、および [備考] の列名が変更できます。「プリンターの一覧を編集する」(P.24) を参照してください。

「アラート一覧」の詳細

監視対象のプリンターで、これまでに発生したアラート情報が表示されます。

詳細情報の表示、 <input type="radio"/> 表示しない <input checked="" type="radio"/> 表示する			詳細情報の削除	選択情報を削除	すべて削除
プリンタ名 [機器名] (複数) [機器名] (複数)	通知日時 ▼ 2021/03/26 09:59 2021/03/26 09:49	通知理由 まもなく「トナーカートリッジ(ブラック)」の交換時期です。 まもなく「トナーカートリッジ(シアン)」の交換時期です。			

[プリンタ名]

アラートが発生したプリンターの名称が表示されます。

[通知日時]

アラートが通知された日時が表示されます。

[通知理由]

アラートの内容が表示されます。

消耗品の残量が少なくなっている場合は、「まもなく <消耗品名> の交換時期です。」と表示されます。
消耗品の残量がなくなった場合は、「<消耗品名> を交換してください。」と表示されます。

補足

- アラートが通知されたプリンターを監視対象から外したあとも、通知されたアラート情報は、アラート一覧に残ります。
- 起動直後、アラート一覧には、通知日時の新しいものから順に表示されます（通知日時の降順）。
- 列名をクリックして、アラートの並べ替えができます。並べ替えの基準となっている列名には、昇順 (▲) / 降順 (▼) が表示されます。
- アラート一覧には、プリンターのアラート情報が表示されます。Supply Monitor のエラーや警告などは、Windows のイベントビューアー (P.34) で確認してください。

アラート情報の削除

アラート情報は、アラートが解消されたあとも通知履歴として、アラート一覧に蓄積して表示されます。不要なアラート情報は、次の手順で削除します。

- 1) アラート一覧で削除する情報を選んだあと、[選択情報を削除] をクリックします。
表示されているアラート情報をすべて削除する場合は、[すべて削除] をクリックします。

The screenshot shows a dialog box for deleting selected alert information. At the top left is a checkbox for '詳細情報の表示' (Show detailed information) with options '表示しない' (Do not show), '表示する' (Show), and '表示する' (Show) checked. On the right are two buttons: '詳細情報を削除' (Delete selected information) and 'すべて削除' (Delete all). Below the buttons is a table with two rows of alert data. The first row has columns for 'プリンタ名' (Printer name), '通知日時' (Notification time), and '通知理由' (Reason). The second row has the same three columns. The entire dialog box is enclosed in a light gray border.

プリンタ名	通知日時 ▼	通知理由
...	2021/03/26 09:59 2021/03/26 09:49	まもなく「トナーカートリッジ(ブラック)」の交換時期です。 まもなく「トナーカートリッジ(シアン)...」の交換時期です。

補足

- <Shift> キーを押しながら選ぶと、連続した行を複数選ぶことができます。
- <Ctrl> キーを押しながら選ぶと、連続していない行を複数選ぶことができます。

- 2) 削除の確認画面で [はい] をクリックします。

アラート情報が削除されます。

補足

アラート情報のログは、インストールフォルダ内の「log_<送信日の西暦年月 (yyyymm 形式)>.txt」形式のファイルに、メール送信結果のログと一緒に記録されます。

3 設定登録画面

設定登録画面で、監視対象のプリンター、アラートの通知方法、ポーリング間隔を設定します。設定内容はファイルに出力したり、ファイルから読み込んだりできます。

3.1 設定操作の流れ

メイン画面から設定登録画面を表示して、設定を保存するまでの操作の流れを説明します。

注記

設定登録画面が表示されている間は、ポーリング処理が停止し、アラートも通知されません。設定が終了したら設定登録画面を閉じてください。

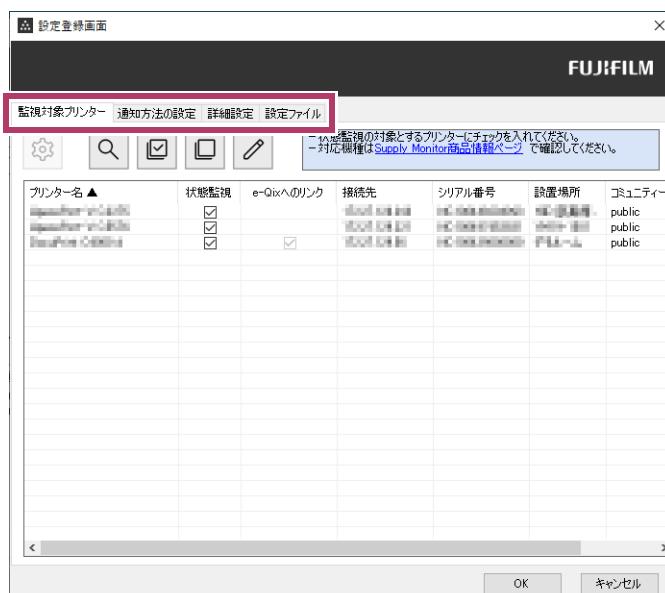
補足

インストール直後は設定登録画面が表示され、同一ネットワーク内のプリンターおよびUSB接続プリンターが、監視対象のプリンターの候補として自動的に一覧に表示されます。

1) [ファイル] > [設定登録画面を開く] を選びます。



2) 監視対象プリンター、通知方法、およびポーリング間隔を設定します。 設定ファイルを使って設定することもできます。



補足

お使いの Supply Monitor のバージョンによっては、[e-Qixへのリンク] 列が表示されません。

6 参照

- ・[e-Qixへのリンク] 列については、「監視対象プリンターの一覧にある、[e-Qixへのリンク] 列のチェックボックス」(P.23) を参照してください。
- ・各タブの設定については、次ページ以降を参照してください。
- ・設定ファイルについては、「設定ファイルの CSV フォーマット」(P.36) を参照してください。

3) [OK] をクリックします。

設定の反映を確認するメッセージが表示されます。

4) [はい] をクリックします。

3.2 [監視対象プリンター] タブ

プリンターを検索し、監視対象のプリンターを設定します。

プリンターを検索して監視対象に設定する

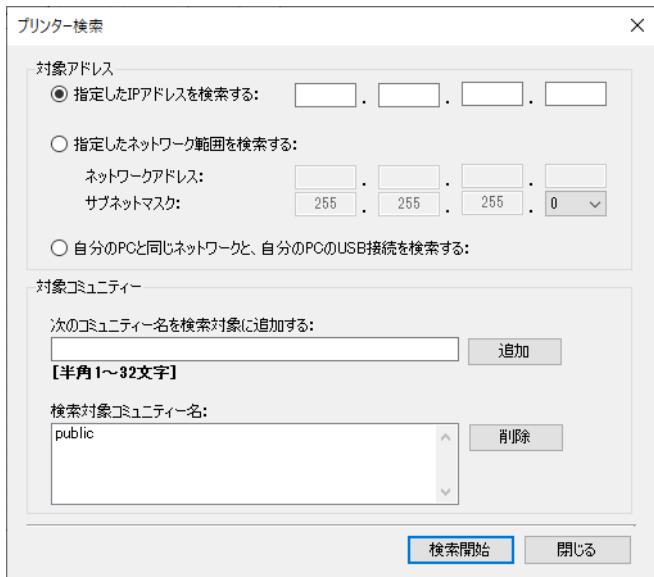
1) 設定登録画面 (P.18) の [監視対象プリンター] タブで、 (プリンター検索ボタン) をクリックします。



補足

アイコンが表示されているボタンにマウスポインタを合わせると、ボタンの説明が表示されます。

2) 検索方法を選びます。



[対象アドレス]

指定した IP アドレスを検索する	プリンターの IP アドレスを指定して検索します。IP アドレスは、「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。
指定したネットワーク範囲を検索する	プリンターのネットワークアドレスを指定して、ネットワーク内のプリンターを検索します。[ネットワークアドレス] は、「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。指定できるネットワークアドレスの長さは、24 ビット以上です。検索するプリンターの IP アドレスを入力しても検索できます。[サブネットマスク] は、最終桁を選びます。
自分の PC と同じネットワークと、自分の PC の USB 接続を検索する	Supply Monitor をインストールした PC と同一ネットワーク内にあるプリンターと、USB 接続されたプリンターを検索します。

[対象コミュニティ]

次のコミュニティ名を検索対象に追加する	コミュニティ名を入力して [追加] をクリックすると、[検索対象コミュニティ名] に追加されます。 ☞ 補足 [検索対象コミュニティ名] は、USB 接続プリンターを検索する場合には無視されます。
検索対象コミュニティ名	追加したコミュニティ名が表示されます。コミュニティ名を削除する場合は、削除対象を選んで [削除] をクリックします。

3) [検索開始] をクリックします。

プリンターの検索が開始されます。検索が終了すると、新たに検出されたプリンターが一覧に追加されます。

4) [閉じる] をクリックします。

- 5) 監視対象にするプリンターの【状態監視】列にチェックマークを付けます。**
監視対象にしないプリンターはチェックマークを外します。



注記

チェックマークを外したプリンターは、設定登録画面を [OK] で閉じたときにプリンターの一覧から削除されます。次に設定登録画面を開いたときは、前回チェックマークの付いていなかったプリンターは、プリンターの一覧に表示されません。チェックマークを外す場合は注意してください。

補足

- ・ (全プリンタ選択ボタン) をクリックすると、すべてのプリンターの【状態監視】列にチェックマークが付きます。
- ・ (全プリンタ選択解除ボタン) をクリックすると、【状態監視】列のチェックマークがすべて外れます。
- ・ 列名をクリックすると、プリンターの並べ替えができます。並べ替えの基準となっている列名には、昇順(▲) / 降順(▼)が表示されます。ただし、【状態監視】、[e-Qixへのリンク]、および【コミュニティ名】による並べ替えはできません。

参照

対応機種を確認する場合は、「Supply Monitor 商品情報ページ」リンクをクリックします。Supply Monitor の商品情報ページが Web ブラウザーで表示されます。

- 6) 続けて、設定登録画面で別の設定をする場合は、タブを切り替えます。**

- 7) すべての設定が終わったら、[OK] をクリックします。**

プリンターを設定する

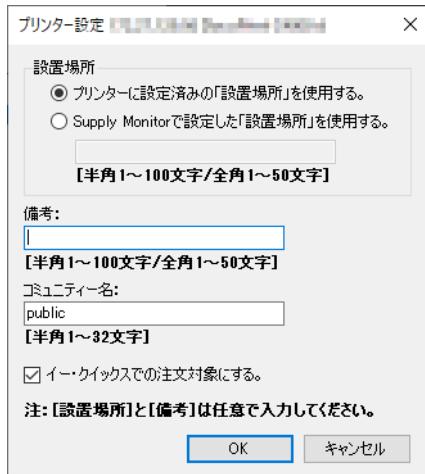
次の設定ができます。

- ・ プリンターの設置場所や備考を登録します。
- ・ ネットワークからプリンターを検索するための、取得用コミュニティ名を指定します。
- ・ イー・クイックスへのリンクが表示されないように設定できます。
あらかじめ消耗品の購入契約が結ばれているプリンターをお使いの場合、連絡窓口がイー・クイックスとは異なるので、この設定を実施します。

補足

ここで設定した設置場所や備考は、Supply Monitor の設定値として使用され、プリンターには登録されません。

- 1) 「設定登録画面」(P.18) の【監視対象プリンター】タブで、情報を登録するプリンターをクリックして選び、 (プリンター設定ボタン) をクリックします。



- 2) 【設置場所】を指定します。

プリンターに設定済みの「設置場所」を使用する。	プリンター本体に設定されている情報を取得します。
Supply Monitor で設定した「設置場所」を使用する。	この画面で入力した情報を使用します。

- 3) 必要に応じて【備考】を入力します。

 **補足**

【備考】の列名は変更できます。「プリンターの一覧を編集する」(P.24) を参照してください。

- 4) プリンターで設定しているコミュニティー名を入力します（半角 32 文字まで）。

 **補足**

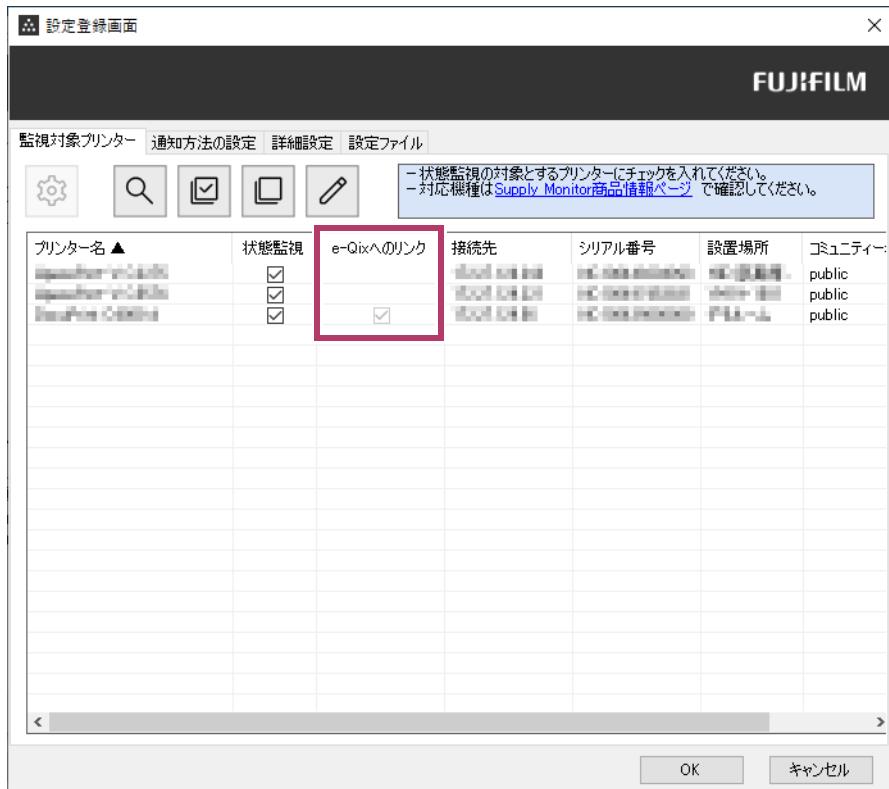
- 間違った取得用コミュニティー名が設定されていると、プリンターと通信ができない原因になります。登録したプリンターのコミュニティー名が変更されたときは、ここで取得用コミュニティー名を変更してから、プリンターを検索してください。
- USB 接続プリンターの場合、【コミュニティー名】はグレーで表示されます。

- 5) イー・クイックスでの注文対象にしない場合は、【イー・クイックスでの注文対象にする。】のチェックマークを外します。

 **補足**

お使いの Supply Monitor のバージョンによっては表示されません。

■監視対象プリンターの一覧にある、[e-Qixへのリンク] 列のチェックボックス



弊社製または富士ゼロックスブランドのプリンターの場合	チェックマークが付いている状態で、設定が変更できないチェックボックスが表示されます。あらかじめ消耗品の購入契約が結ばれているプリンターをお使いの場合は、連絡窓口がイー・クイックスとは異なりますので、[プリンター設定] 画面で [イー・クイックスでの注文対象にする。] チェックマークを外し、メイン画面に [e-Qix で注文] のリンクが表示されないようにしてください。
弊社製以外の機器の場合	チェックマークが外れている状態でチェックボックスが表示されます。イー・クイックスでの注文対象にする場合は、チェックマークを付けないとメイン画面に [e-Qix で探す] のリンクが表示されます。

6) [OK] をクリックします。

設定登録画面（[監視対象プリンター] タブ）に戻ります。

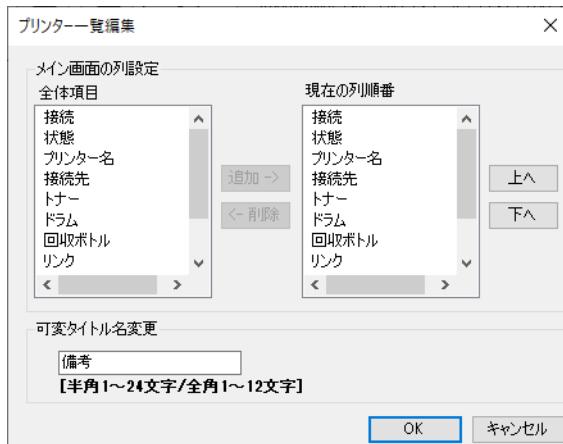
7) 続けて、設定登録画面で別の設定をする場合は、タブを切り替えます。

8) すべての設定が終わったら、[OK] をクリックします。

プリンターの一覧を編集する

プリンターの一覧の列の表示 / 非表示、表示順番、および列名（[備考] のみ）を変更します。

- 1) 設定登録画面（P.18）の【監視対象プリンター】タブで、（プリンター一覧編集ボタン）をクリックします。



■列の表示 / 非表示を切り替える

[全体項目] には、プリンターの一覧に表示できるすべての列名が表示されています。

[現在の列順番] には、現在プリンターの一覧に表示されている列名が表示されています。

列を表示する	[全体項目] でプリンターの一覧に表示する列名を選び、[追加] をクリックします。選んだ列名が [現在の列順番] に移動します。
列を非表示にする	[現在の列順番] で非表示にする列名を選び、[削除] をクリックします。選んだ列名が [全体項目] に移動します。

補足

[接続] 列、[状態] 列、および [プリンターネーム] 列は、非表示できません。

■列の表示順番を変更する

[現在の列順番] の表示順番は、プリンターの一覧の左からの表示順番に対応しています。

[現在の列順番] で順番を変更する列名を選び、[上へ] または [下へ] をクリックして順番を変更します。

■[備考] の列名を変更する

[可変タイトル名変更] に変更後の列名を入力します。

- 2) [OK] をクリックします。

設定登録画面（[監視対象プリンター] タブ）に戻ります。

- 3) 続けて、設定登録画面で別の設定をする場合は、タブを切り替えます。

- 4) すべての設定が終わったら、[OK] をクリックします。

3.3 [通知方法の設定] タブ

プリンターで発生したアラートを通知する方法を設定します。

通知方法には、ポップアップ通知とメール通知があります。

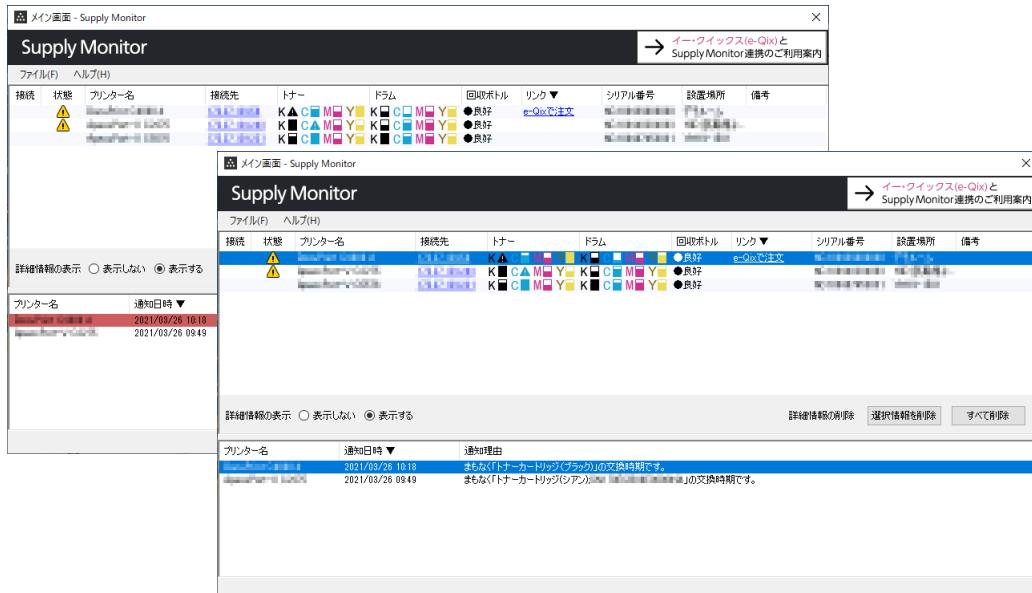
6.2 参照

通知するタイミングとリトライの設定は、「[詳細設定] タブ」(P.29) を参照してください。

ポップアップ通知

メイン画面がポップアップで表示されます。このとき、画面下部のアラート一覧にアラートが赤い背景で表示されます。この行をクリックすると、プリンターの一覧で、アラートが発生しているプリンターの行が反転表示されます。

【例】

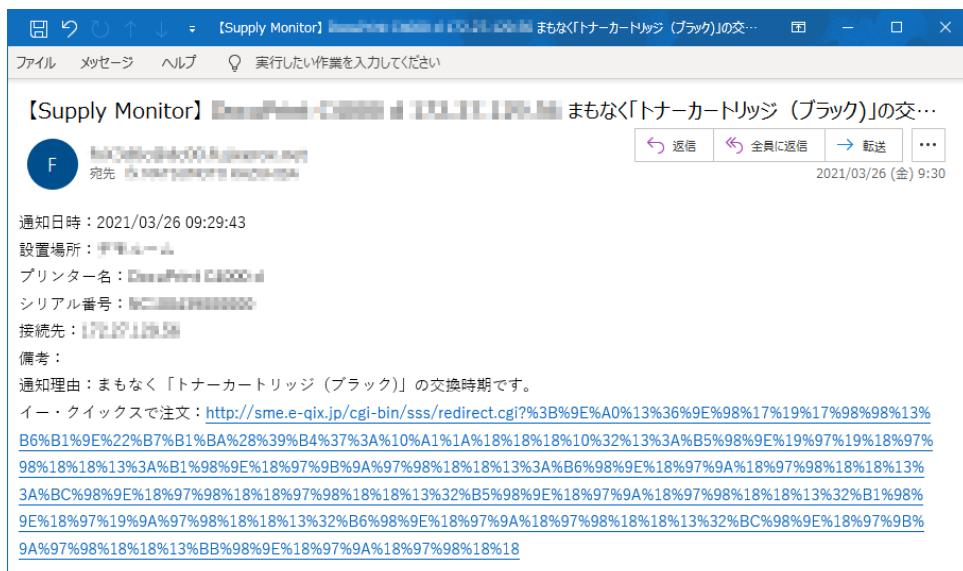


メール通知

登録されたメールアドレスにメールが送信されます。

アラート 1つにつきメール 1通で通知されます。同じプリンターで複数のアラートが発生した場合は、発生したアラートの数だけメールが送信されます。

【例】



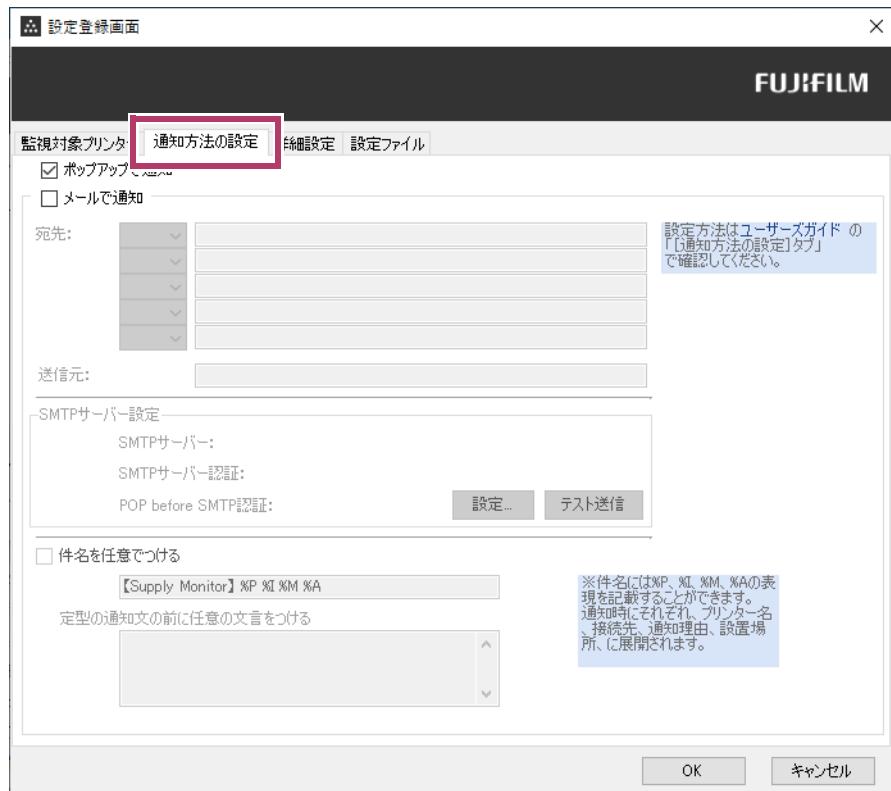
注記

お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、イー・クイックスへのリンク先の URL が表示されません。

補足

お使いの環境でメールを送信するためのメールサーバー、認証方式などについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1) 設定登録画面 (P.18) で [通知方法の設定] タブをクリックします。



補足

【宛先】の右側の「ユーザーズガイド」リンクをクリックすると、「ユーザーズガイド」(本書) の PDF ファイルが表示されます。

2) [ポップアップで通知] で、ポップアップで通知するかどうかを設定します。

補足

初期状態では、[ポップアップで通知] にチェックマークが付いています。

ポップアップ通知を利用しない場合は、チェックマークを外します。

3) [メールで通知] で、メールで通知するかどうかを設定します。

メールで通知する場合は、[メール通知] にチェックマークを付けて、「メール通知の設定」(P.27) を参照してください。

4) 続けて、設定登録画面で別の設定をする場合は、タブを切り替えます。

5) すべての設定が終わったら、[OK] をクリックします。

メール通知の設定

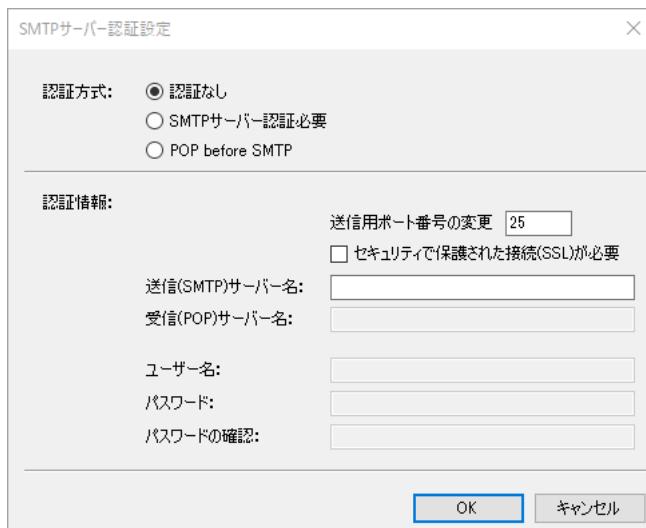
- 1) [宛先] で、[To] または [Cc] を選び、送信先のメールアドレスを入力します。

補足

宛先は 5 件までで、個別に [To] または [Cc] を設定できます。

- 2) [送信元] に、メールの送信元に表示されるメールアドレスを入力します。

- 3) [SMTP サーバー設定] の [設定] をクリックし、SMTP サーバーの設定をします。



■ [認証方式]

SMTP 送信時に認証をするかどうかを選びます。

認証する場合は、SMTP サーバー認証か、POP 認証後送信 (POP before SMTP) のどちらかを選びます。

■ [送信用ポート番号の変更]

送信用のポート番号を変更する場合は、ポート番号を入力します。

補足

初期状態では、「25」が設定されています。

[セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要] にチェックマークを付けた場合は、「587」が設定されます。

■ [セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要]

SSL 接続が必要な場合は、チェックマークを付けます。

■ [送信 (SMTP) サーバー名]

SMTP サーバー名を入力します。

■ [受信 (POP) サーバー名]

POP 認証後送信 (POP before SMTP) で認証する場合は、POP サーバー名を入力します。

■ [ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの確認]

SMTP サーバー認証、または POP 認証後送信 (POP before SMTP) の場合は、認証時に使用するユーザー名とパスワードを入力します。

- 4) [OK] をクリックします。

SMTP サーバーの認証設定が終了し、設定登録画面（[通知方法の設定] タブ）に戻ります。

5)宛先、送信元、およびSMTPサーバーが設定済みであることを確認し、[テスト送信]をクリックします。

設定した宛先にテストメールが送信され、送信結果のダイアログボックスが表示されます。

補足

- ・テストメールには、次の内容が設定されています。
 - 件名 : [Supply Monitor] テストメール送信
 - 本文 : Supply Monitor のテストメールです。
- ・メールの送信結果はログでも確認できます。「メール送信結果やアラート情報を確認する場合」(P.33) を参照してください。

6) 件名を標準設定から変更する場合は、[件名を任意でつける]にチェックマークを付けます。

補足

- ・件名の既定値は、次のとおりです。
[Supply Monitor] %P %I %M %A
- ・%Pなどの定型文字の意味は、次のとおりです。
 - %P : プリンター名
 - %I : 接続先
 - %M : 通知理由
 - %A : 設置場所
- ・送信時、定型文字は項目値に置き換わります。既定値の件名は、実際には次のように送信されます。
(例)
[Supply Monitor] <製品名> <IP アドレス> 「ドラムカートリッジ」を交換してください 2F 北側

7) 任意の件名は、半角256文字(全角128文字)以内で入力します。

8) メール本文に任意の文字列を加える場合は、[定型の通知文の前に任意の文言をつける]に文字列を入力します。

補足

- ・メール本文には定型文が設定されています。任意の文字列は、定型文の前に挿入されます。
- ・文字列に、件名で使用できる定型文字(%Pなど)を入力しても、項目値には置き換わりません。
- ・定型文には、次の項目が設定されています。
 - [通知日時]
 - [設置場所]
 - [プリンター名]
 - [シリアル番号]
 - [接続先]
 - [備考]
 - [通知理由]
 - [イー・クイックスで注文]
- ・[イー・クイックスで注文]は、イー・クイックスへのリンク先のURLです。「プリンターを設定する」(P.21)において、[e-Qixへのリンク]にチェックマークを付けたプリンターに表示されます。
なお、お使いのSupply Monitorのバージョンによっては、イー・クイックスへのリンク先のURLが表示されません。

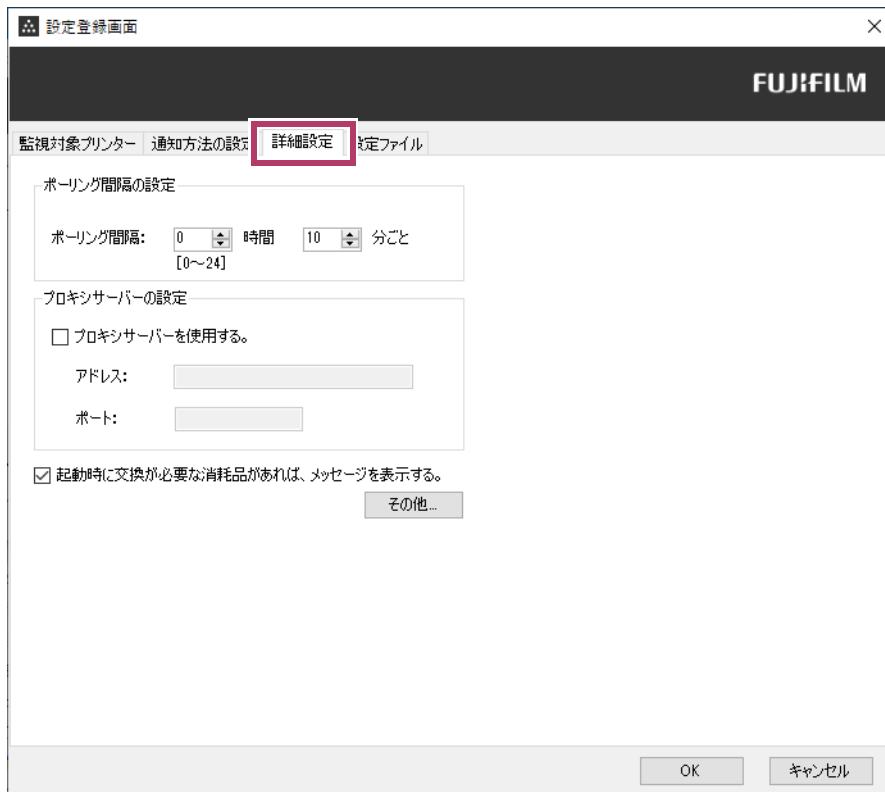
参考

定型文に設定されている項目については、「「プリンターの一覧」の詳細」(P.14)、「「アラート一覧」の詳細」(P.16)を参照してください。

3.4 [詳細設定] タブ

ポーリング間隔（Supply Monitor がプリンターに問い合わせて情報を取得する間隔）と、プロキシサーバーに関する設定をします。また、消耗品交換についてのメッセージを表示するかどうかを設定します。

- 1) 設定登録画面（P.18）で [詳細設定] タブをクリックします。



- 2) [ポーリング間隔の設定] で、情報を取得する間隔を指定します。

補足

初期状態では、10 分ごとに設定されています。

- 3) [プロキシサーバーの設定] で、Supply Monitor の最新バージョンを確認するときのプロキシサーバーの設定をします。

補足

Supply Monitor の起動時、または [ヘルプ] > [更新の有無をチェック] を選んだ場合に、更新情報取得エラー（「プロキシサーバーの設定を確認して下さい。」）が表示されたときは、ここでプロキシサーバーの設定をしてください。

- 4) 消耗品交換についてのメッセージを起動時に表示する場合は、[起動時に交換が必要な消耗品があれば、メッセージを表示する。] にチェックマークを付けます。

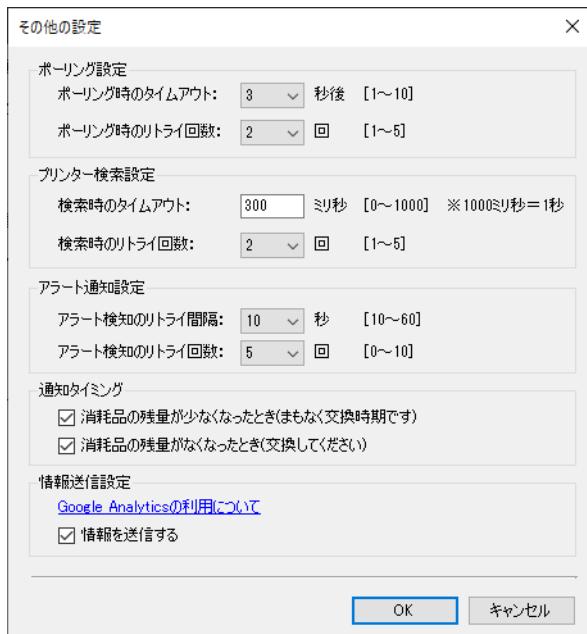
補足

初期状態ではチェックマークが付いています。メッセージを表示しない場合は、チェックマークを外します。

- 5) さらに詳細にポーリングの設定を調整する場合や、アラート通知に関する設定をする場合は、[その他] をクリックします。

補足

通常、詳細な時間設定は、既定値のまま使用します。お使いの環境でポーリング、またはプリンターの検索に失敗する場合に調整してください。



■ ポーリング設定

ポーリング時のタイムアウト	ポーリング時のタイムアウト時間を調整します。
ポーリング時のリトライ回数	ポーリング時にリトライする回数を指定します。

■ プリンター検索設定

検索時のタイムアウト	プリンター検索時のタイムアウト時間を調整します。
検索時のリトライ回数	プリンター検索時にリトライする回数を指定します。

■ アラート通知設定

アラート検知のリトライ間隔	アラートの新規検知時、またはアラートの解除検知時のリトライ間隔を調整します。
アラート検知のリトライ回数	アラートの新規検知時、またはアラートの解除検知時のリトライ回数を指定します。

補足

同じプリンターの同じ消耗品で、頻繁にアラートが通知される場合は、リトライ間隔およびリトライ回数を増やしてください。リトライ間隔およびリトライ回数を増やすと、アラートの通知が遅れます。

また、リトライ間隔およびリトライ回数を減らすと、アラートが頻繁に通知されることがあります。

■ 通知タイミング

通知するタイミングにチェックマークを付けます。

補足

チェックマークを外すと、アラートが発生しても通知されません。

■情報送信設定

Google Analytics の利用について	クリックすると Google Analytics についての説明がテキスト形式で表示されます。
情報を送信する	チェックマークを外すと、Google Analytics に情報が送信されなくなります。

6) [OK] をクリックします。

設定登録画面（[詳細設定] タブ）に戻ります。

7) 続けて、設定登録画面で別の設定をする場合は、タブを切り替えます。

8) すべての設定が終わったら、[OK] をクリックします。

3.5 [設定ファイル] タブ

設定を変更するには、設定登録画面（P.18）で変更する方法のほかに、CSV 形式の設定ファイルを使って設定値を読み込む方法があります。

また、設定登録画面で設定した値は、CSV 形式の設定ファイルに出力できます。出力した設定ファイルは、バックアップ用のほかに、別のクライアント PC で同じ設定を使うときに利用できます。

補足

- 出力した設定ファイルの編集には、Microsoft メモ帳などのテキストエディタを使用し、Excel などの表計算ソフトは使用しないでください。表計算ソフトで編集すると、Supply Monitor では使用できない形式で保存されます。
- 新規で設定ファイルを作成する場合も、Supply Monitor で設定ファイルを出力したものを雛形として使ってください。
- 設定を読み込むと、現在の設定値が上書きされます。現在の設定を変更する場合は、いったん設定を CSV ファイルに書き出したあと、その CSV ファイルをテキストエディタで編集し、読み込みます。
- 設定ファイルを使用して、ネットワークプリンターを追加したり、設定を変更したりできます。この機能を使用すると、複数のプリンターを一括で追加できます。
USB 接続プリンターは、設定ファイルを使用して追加することはできません。
- Supply Monitor 1.1 で書き出した設定ファイルを、Supply Monitor 1.2 で読み込むことができます。

1) 設定登録画面 (P.18) の [設定ファイル] タブをクリックします。



■ CSV ファイルを書き出す場合

[CSV ファイルへの出力] をクリックし、出力フォルダとファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

指定した場所にファイルが output されます。

補足

初期状態のファイル名は、「SupplyMonitorSetting_<現在の西暦下 2 行の年月日 (yymmdd 形式) >.csv」です。

参考

設定ファイルの CSV フォーマットについては、「設定ファイルの CSV フォーマット」(P.36) を参照してください。

■ CSV ファイルを読み込む場合

[CSV ファイルからの入力] をクリックし、読み込む CSV 形式のファイルを指定して、[開く] > [はい] の順にクリックします。

設定情報が上書きで変更されます。

2) 続けて、設定登録画面で別の設定をする場合は、タブを切り替えます。

3) すべての設定が終わったら、[OK] をクリックします。

4 トラブルシューティング

Supply Monitor のエラーや警告の対処方法について説明します。

メール送信ができない場合

お使いの PC にウイルス対策ソフトウェアがインストールされていると、通知メールを送信できないことがあります。ウイルス対策ソフトウェアで、メール送信（デフォルトでは TCP ポート 25 番への接続）を許可するソフトウェアに「SupplyMonitor.exe」を指定してください。

メール送信結果やアラート情報を確認する場合

ログファイル（インストールフォルダ内の「log_<送信日の西暦年月（yyyymm 形式）>.txt」形式のファイル）に、メール送信結果とアラート情報が、次の形式で記録されます。

- ・ 日時 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS) : (例) 2019/08/01 18:27:26
- ・ 処理：アラート通知（固定）
- ・ 内容：(例) メール送信完了 ([xxx@example.co.jp])

内容には、次のいずれかが記録されます。

内容	対策
メール送信完了 ([<メールアドレス>])	—
メール送信失敗 ([1人以上の受信者に、メッセージを配信できませんでした。])	「メール送信ができない場合」(P.33) を確認してください。
メール送信失敗 ([SMTP サーバーに接続できません])	設定した SMTP サーバー名を確認してください。
メール送信失敗 ([SMTP サーバーの設定が不正です])	設定登録画面から再度登録を行ってください。
メール送信失敗 ([メールアドレスが不正です])	—
詳細情報	—

Supply Monitor 起動時に自動更新エラーのバルーンが表示される場合

インターネットに接続できない、もしくはプロキシサーバーの設定が異なっていると、タスクトレイの常駐アイコン  から、「自動更新 / 更新情報の取得に失敗しました。」のバルーンが表示されます。

6.5 参照

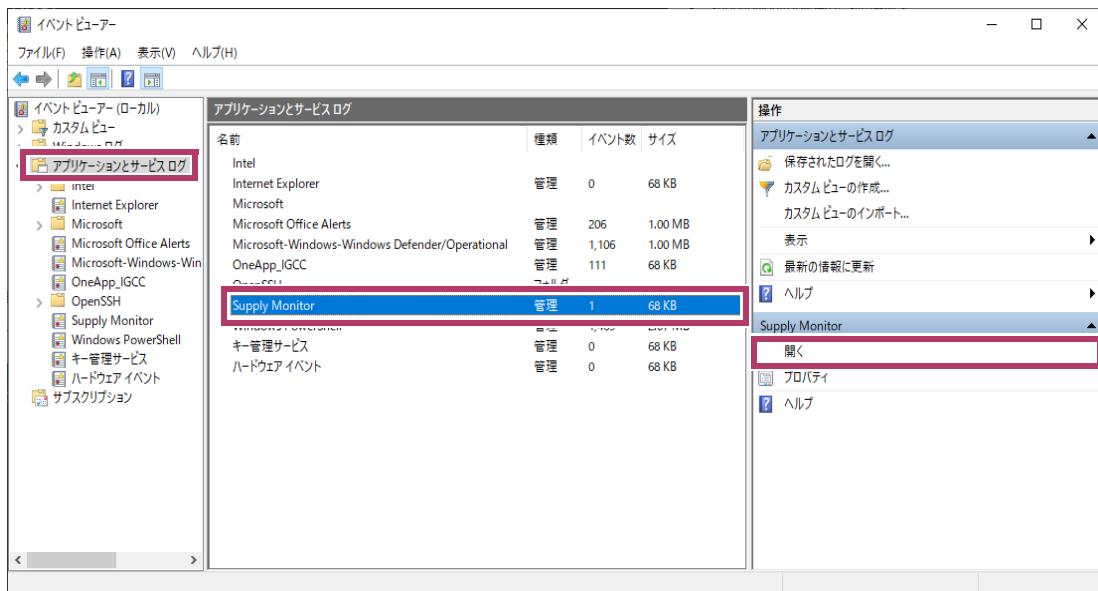
プロキシサーバーの設定方法は、「[詳細設定] タブ」(P.29) を参照してください。

バルーンもしくはアイコンをクリックすると、エラーメッセージが表示されます。ここで、「次回からこのメッセージを表示しない。」にチェックマークを付けると、自動更新エラーのバルーンが表示されなくなります。

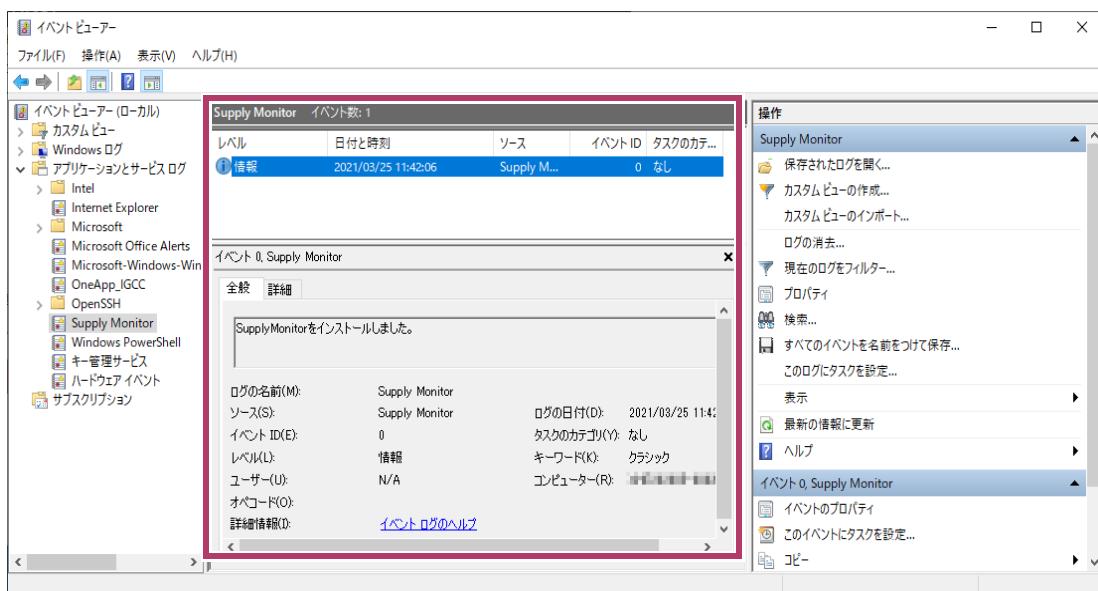
Supply Monitor のエラーや警告を確認する

Windows のイベントビューアーに記録された、Supply Monitor のエラーや警告などのログを確認してください。

- 1) Windows に、管理者権限を持つユーザーでサインインします。
- 2) Windows の [スタート] メニューから [Windows ツール] > [イベント ビューアー] をクリックします。
- 3) [アプリケーションとサービスログ] > [Supply Monitor] > [開く] をクリックします。



- 4) イベントをクリックしてプロパティを表示し、内容を確認します。



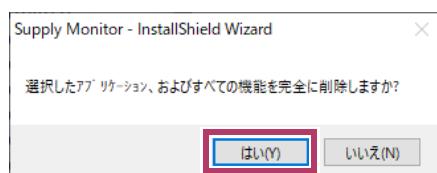
5 アンインストール

Supply Monitor をアンインストールする手順について説明します。

- 1) Supply Monitor をアンインストールする PC に、管理者権限のあるユーザーでサインインします。
- 2) Windows の [スタート] メニューから [Windows ツール] > [コントロール パネル] > [プログラム] > [プログラムと機能] をクリックします。
- 3) [Supply Monitor <バージョン番号>] を右クリックして、[アンインストール] をクリックします。

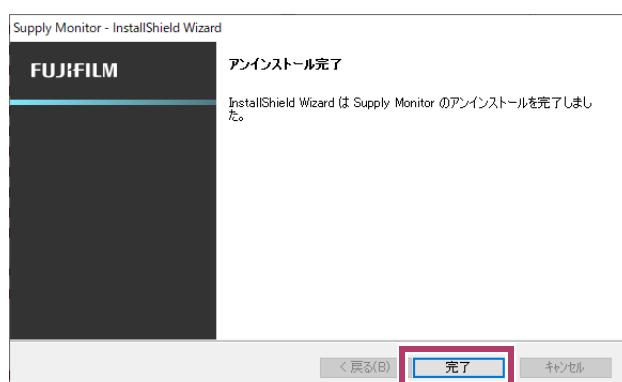


- 4) [はい] をクリックします。



アンインストールが開始されます。

- 5) [完了] をクリックします。



補足

システムの再起動とサインインを促すメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。
システムが自動的に再起動されたあと、アンインストールを実行したユーザーでサインインします。

6 設定ファイルの CSV フォーマット

CSV フォーマットに従って記述された設定ファイルから、設定値を取り込む手順について説明します。

補足

- ・ 設定登録画面で設定ファイルを出力すると、次の CSV フォーマットでファイルに出力されます。
- ・ 新規で設定ファイルを作成する場合も、Supply Monitor で設定ファイルを出力したものを雛形として使ってください。

参考

設定ファイルを入出力する操作は、「3 設定登録画面」(P.18) の「[設定ファイル] タブ」(P.31) を参照してください。

設定ファイルの CSV フォーマットは、次のとおりです。

設定ファイルを Microsoft メモ帳で表示した画面を例に、項目を①から⑦に分けて説明します。

注記

- ・ 設定ファイルの編集には、Microsoft メモ帳などのテキストエディタを使用し、Excel などの表計算ソフトは使用しないでください。表計算ソフトで編集すると、Supply Monitor では使用できない形式で保存されます。
- ・ 設定ファイル内に記載されているダブルクオーテーション ("") やカンマ (,) などの記号文字は、削除しないで、そのまま使ってください。

①ポーリング間隔 (P.37)

②通知方法 (P.38)

③メールの宛先 (P.39)

④検索コミュニティ名 (P.39)

⑤プリンター一覧 (P.40)

⑥プリンター一覧の表示 / 非表示 (P.41)

⑦監視対象プリンター (P.42)

```
SupplyMonitorSetting_210326.csv - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
"encrypt", "polling interval", "timeout", "retry", "se
1, "10", "3", "2", "300", "2", "10", "5", "1", "1", "0", "", ""
"apprise type", "from addr", "smtp auth type", "pc
"1", "", "0", "25", "", "", "", "", "", "" 【Supply Monitor】
"send type", "mail addr"
"",
"search community"
"public"
"column connect", "column state", "column print
"0", "1", "2", "3", "4", "5", "6", "7", "8", "9", "10", "備考"
"connect display", "state display", "printer name
"1", "1", "1", "1", "1", "1", "1", "1", "1", "1", "1"
"ip address", "community", "location type", "locat
"192.168.1.1", "public", "0", "192.168.1.2"
"ip address", "community", "location type", "locat
```

- ・ 項目名と項目値はダブルクオーテーション ("") で囲まれています。項目はカンマ (,) で区切られています。
- ・ ①から⑦は、それぞれ 2 行で構成されています。1 行めには見出しとなる項目名、2 行めには対応する項目値を記述します。
- ・ メールの宛先 (③) や監視対象プリンター (⑦) を 2 つ以上指定する場合は、1 行めと 2 行めをセットで繰り返して記述します。

- 項目名がフォーマットと異なるとき、入力した項目値が不正なとき、または入力すべき項目が未入力のときは、エラーとなり、取り込み処理が行われません。
- 設定ファイルの取り込み時には、設定した監視対象プリンターとの接続は確認されません。設定登録画面で【OK】をクリックしたあとにプリンターとの通信が行われ、メイン画面にプリンターナンバー名や消耗品の状態が表示されます。

①ポーリング間隔

①には、設定登録画面の【詳細設定】タブにある設定を記述します。

項目	設定内容
encrypt	パスワードの不可視化識別を指定します。 [smtp password]、または [pop password] を入力する場合は、「0」に設定します。 0: 平文, 1: 不可視化 【既定値】1
polling interval	ポーリング間隔（分）を、1から1,440までの数値で指定します。 【既定値】10
timeout	ポーリングのタイムアウト（秒）を、1から10までの数値で指定します。 【既定値】3
retry	ポーリングのリトライ回数を、1から5までの数値で指定します。 【既定値】2
search timeout	検索時のタイムアウト（ミリ秒）を、0から1,000までの数値で指定します。 【既定値】300
search retry	検索時のリトライ回数を、1から5までの数値で指定します。 【既定値】2
alert timeout	アラート検知時のタイムアウト（秒）を、10から60までの数値で10単位に指定します。 【既定値】10
alert retry	アラート検知時のリトライ回数を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】5
notice near end	消耗品の残量が少なくなっている場合に、通知するかどうかを数値で指定します。 0: 通知なし, 1: 通知あり 【既定値】1
notice end	消耗品の残量がなくなった場合に、通知するかどうかを数値で指定します。 0: 通知なし, 1: 通知あり 【既定値】1
proxy type	Supply Monitor の最新バージョンを確認する場合に、プロキシサーバーを使用するかどうかを数値で指定します。 0: 使用しない, 1: 使用する 【既定値】0
proxy	プロキシサーバーを使用する場合に、プロキシサーバーアドレスを指定します。
port	プロキシサーバーを使用する場合に、ポート番号を指定します。
alert display	起動してから5分後にアラートを表示するかどうかを指定します。 0: アラートを表示しない, 1: アラートを表示する 【既定値】1
send ga	Google Analytics に情報を送信するかどうかを指定します。 0: 送信しない, 1: 送信する 【既定値】1

②通知方法

②には、設定登録画面の【通知方法の設定】タブにある、宛先を除く設定を記述します。

項目	設定内容
apprise type	通知方法を指定します。 0: 通知なし, 1: ポップアップで通知, 2: メールで通知, 3: ポップアップとメールで通知 【既定値】 1
from addr	送信元に表示するメールアドレスを入力します。 【例】 xxx@example.co.jp
smtp auth type	認証方式を指定します。 0: 認証なし, 1: SMTP 認証, 2: POP before SMTP 認証 【既定値】 0
port number	SMTP ポート番号を指定します。 【既定値】 25
smtp server name	SMTP サーバー名を入力します。 【例】 server.example.co.jp
smtp user	【smtp auth type】に「1」を指定したときは、SMTP ユーザーアカウントを入力します。
smtp password	【smtp auth type】に「1」を指定したときは、SMTP ユーザーパスワードを入力します。  補足 <ul style="list-style-type: none">パスワードを入力する場合は、[encrypt] を「0」に設定してください。設定ファイルの出力時には、パスワードは不可視化されます。
pop server name	【smtp auth type】に「2」を指定したときは、POP サーバー名を入力します。
pop user	【smtp auth type】に「2」を指定したときは、POP ユーザーアカウントを入力します。
pop password	【smtp auth type】に「2」を指定したときは、POP ユーザーパスワードを入力します。  補足 <ul style="list-style-type: none">パスワードを入力する場合は、[encrypt] を「0」に設定してください。設定ファイルの出力時には、パスワードは不可視化されます。
subject	件名を入力します。標準設定を使う場合は、例に示す文字列を入力します。標準設定を使わない場合は、半角 256 文字（全角 128 文字）以内で入力します。 【例】【Supply Monitor】%P %I %M %A
body	メール本文に任意の文字列を加える場合は、文字列を入力します。 文字列を加えない場合は、未入力にしておきます。
enable_ssl	SSL 接続を実施するかどうかを指定します。 0:SSL 接続しない, 1:SSL 接続する 【既定値】 0

③メールの宛先

③には、設定登録画面の【通知方法の設定】タブにある【宛先】を指定します。

宛先は5つまで指定できます。1行めと2行めをセットで繰り返して記述します。

項目	設定内容
send type	宛先種別を指定します。 0:To, 1:Cc 【既定値】0
mail addr	宛先のメールアドレスを入力します。 【例】xxx@example.co.jp

④検索コミュニティ名

④には、設定登録画面の【監視対象プリンター】タブの  (プリンター検索ボタン) をクリックして表示される、【プリンター検索】画面にある【対象コミュニティー】を指定します。

項目	設定内容
search community	検索対象とするコミュニティ名を半角32文字以内で入力します。未入力のときは、「public」が設定されます。複数指定する場合は改行して入力します。

⑤プリンター一覧

⑤には、設定登録画面の【監視対象プリンター】タブの  (プリンター一覧編集ボタン) をクリックして表示される、【プリンター一覧編集】画面の、【現在の列順番】の表示順番と可変タイトル名を記述します。

項目	設定内容
column connect	【接続】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】0
column state	【状態】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】1
column printer name	【プリンターナー名】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】2
column ip address	【接続先】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】3
column toner	【トナー】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】4
column drum	【ドラム】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】5
column bottle	【回収ボトル】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】6
column link	【リンク】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】7
column serial	【シリアル番号】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】8
column location	【設置場所】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】9
column note	【備考】列の順番を、0から10までの数値で指定します。 【既定値】10
note title	【備考】列のタイトル名を全角12文字(半角24文字)以内で入力します。 【既定値】備考

補足

【現在の列順番】の表示順番は、上から0,1,2,3…となっています。これは、プリンターの一覧に表示される列の、左からの表示順番に対応します。

⑥プリンター一覧の表示 / 非表示

⑥には、設定登録画面の【監視対象プリンター】タブの  (プリンター一覧編集ボタン) をクリックして表示される、【プリンター一覧編集】画面の【現在の列順番】に、列名を表示するかどうかを記述します。

項目	設定内容
connect display	[接続] 列を表示するかどうかの設定です。 この値は「1：表示」固定です。「1」以外の値を指定した場合は、無視されます。
state display	[状態] 列を表示するかどうかの設定です。 この値は「1：表示」固定です。「1」以外の値を指定した場合は、無視されます。
printer name display	[プリンター名] 列を表示するかどうかの設定です。 この値は「1：表示」固定です。「1」以外の値を指定した場合は、無視されます。
ip address display	[接続先] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1
toner display	[トナー] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1
drum display	[ドラム] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1
bottle display	[回収ボトル] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1
link display	[リンク] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1
serial display	[シリアル番号] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1
location display	[設置場所] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1
note display	[備考] 列を表示するかどうかを指定します。 0: 非表示, 1: 表示 【既定値】1



「0: 非表示」を指定した項目は、プリンターの一覧に表示されません。

⑦監視対象プリンター

⑦には、設定登録画面の【監視対象プリンター】タブにある設定を記述します。ネットワークプリンターの場合は、1行めと2行めをセットで繰り返して記述すると、複数のプリンターを監視対象として登録できます。USB接続プリンターを登録する場合、設定ファイルを利用することはできません。

項目	設定内容
ip address	ネットワークプリンターのIPアドレスを入力します。 【例】192.168.1.15 USB接続プリンターでは、空白が設定されます。
community	ネットワークプリンターのコミュニティ名を、半角32文字以内で入力します。 未入力のときは、ネットワークプリンターでは「public」、USB接続プリンターでは空白が設定されます。
location type	設置場所の登録方法を指定します。 0:自動取得、1:手動で登録 【既定値】0
location	設置場所を全角50文字(半角100文字)以内で入力します。 設置場所を設定しない場合は、未入力にしておきます。
note	備考を全角50文字(半角100文字)以内で入力します。 備考を設定しない場合は、未入力にしておきます。
link1	DocuPrintブランドプリンターのリンク表示を指定します。 0:リンク非表示、1:リンク表示 【既定値】1
link2	他社製のプリンターのリンク表示を指定します。 0:リンク非表示、1:リンク表示 【既定値】0
device name	USB接続プリンターの場合にOSが付与するUSBデバイス名です。  注記 この項目は、Supply Monitorから出力された値を変更しないでください。
connection type	登録するプリンターの接続方法を指定します。 0:ネットワークプリンター、1:USB接続プリンター
usb port	USB接続プリンターが接続されているUSBポート番号です。  注記 この項目は、Supply Monitorから出力された値を変更しないでください。

7

注意制限事項

安全にお使いいただくための注意事項や、操作中に気をつけていただきたい事項について説明します。

全体

- 実際の残量や、 (交換時期アイコン) および  (要交換アイコン) が表示されたときの詳細は、Internet Services、またはプリンター本体で確認してください。また、 (交換時期アイコン) が表示された後の印刷可能枚数は、各プリンターのユーザーズガイドを参照してください。
- Supply Monitor では、セットされているトナーが標準か大容量かを区別できません。
- [接続] 列に  (通信不可アイコン) が表示されている場合でも、未接続を検知する直前の状態の残量アイコンが表示されます。ネットワーク切断が原因で未接続が発生した場合などでは、実際の残量と表示している残量が異なる場合があります。
- 残量は 1/4 ステップのアイコンで表示していますが、1/4 単位で消費していくことを保証するものではありません。機種や使用状況によっては、 (75%～100% 残量表示アイコン) の次に、 (交換時期アイコン) や  (要交換アイコン) が表示されることがあります。
- プリンター側の状態により、一時的に消耗品列に  (状態不明アイコン) や、 (残量なしアイコン) が表示される場合があります。この場合は、[ファイル] > [最新情報を取得] をクリックするか、<F5> キーを押して、情報を再取得してください。または、Internet Services、もしくはプリンター本体で状態を確認してください。
- ポーリング間隔やプリンターの状態により、複数回アラートが通知される場合があります。

プリンター機種固有

あらかじめ消耗品の購入契約が結ばれているプリンターは、連絡窓口がイー・クイックスとは異なります。ご契約内容を確認の上、指定窓口に消耗品をご注文ください。また、プリンター設定画面で【イー・クイックスでの注文対象にする】のチェックマークを外して、イー・クイックスへのリンクを表示させないようにしてください。

6.2 参照

リンクを表示させないようにする手順は、「プリンターを設定する」(P.21) を参照してください。

DocuPrint C3360

プリンター本体の操作パネルに「トナー予備用意」の表示と同時に、 (交換時期アイコン) が表示され通知されます。その後、「トナー交換時期」の表示に変わっても、再度通知はされません。

DocuPrint C3200 A

転写ロールカートリッジの残量は、[回収ボトル] 列に表示されます。

DocuPrint 3050

通常の設定では、トナー寿命時に、 (要交換アイコン) は表示されず、通知もされません。

トナー寿命時に  (要交換アイコン) を表示し、ポップアップ通知 / メール通知を行うには、ファームウェア Ver.200901161251 以降 / ファームウェア Ver.200901161249 以降において、プリンター本体の操作パネルで、「システム セッティ」>「トナージュミョウ」>「プリントテイシスル」に設定します。

索引

英数字

CSV フォーマット	36
USB 接続プリンター	9
Windows のイベントビューアー	34

あ

アラート一覧	16
アラート情報の削除	17
アンインストール	35
イー・クイックス	7
イベントビューアー	34

か

監視対象プリンター	19
起動と終了	10
検索	19
コミュニティー名	21

さ

最新情報の取得	13
詳細設定	29
情報送信設定	31
消耗品交換のメッセージ表示	29
消耗品の種類	9
設置場所	21
設定登録画面	18
設定ファイル	31
その他の設定	30
ソフトウェア	8

た

注意制限事項	43
通知アイコン	10
通知方法の設定	25
通知領域	10
動作環境	8
トラブルシューティング	33

な

ネットワークプリンター	9
-------------------	---

は

ハードウェア	8
バルーンが表示される	33
備考	21
プリンターの一覧	14
プリンターの対応機種	9
プロキシサーバー	29
ポーリング	13
ポーリング間隔	29
ポップアップ通知	25

ま

メール送信結果ログ	33
メール通知	25
メイン画面	12

商品のお問い合わせ先について

- この商品に関するご質問、ご相談は、プリンターサポートデスクにお問い合わせください。

フリーダイヤル:0120-66-2209 FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：9時から12時、13時から17時（土・日・祝日および12月30日から1月3日をのぞく）

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

- 富士フィルムビジネスイノベーションに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル：0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：9時から12時、13時から17時（土・日・祝日および12月30日から1月3日をのぞく）

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

ホームページアドレス：<https://www.fujifilm.com/fb/>

商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

Supply Monitor 1.2 ユーザーズガイド